

平成 29 年 2 月 10 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 イ ー ド  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 宮 川 洋  
(コード：6038、東証マザーズ)  
問 合 せ 先 取 締 役 管 理 本 部 本 部 長 工 木 大 造  
(TEL. 03-5990-5330)

平成 29 年 6 月 期 第 2 四 半 期 累 計 期 間 の 業 績 予 想 と 実 績 値 と の 差 異  
及 び 通 期 業 績 予 想 の 修 正 に 関 す る お 知 ら せ

平成 28 年 8 月 12 日に公表した平成 29 年 6 月 期 第 2 四 半 期 (累 計) (平成 28 年 7 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日) の 業 績 予 想 と 本 日 開 示 の 実 績 値 に 差 異 が 生 じ ま し た の で、下 記 の と お り お 知 ら せ い た し ま す。

また、最近の業績の動向を踏まえ、平成 29 年 6 月 期 通 期 (平成 28 年 7 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日) 業 績 予 想 に つ き ま し て も 下 記 の と お り 修 正 い た し ま し た の で お 知 ら せ い た し ま す。

記

1. 平成 29 年 6 月 期 第 2 四 半 期 (累 計) 連 結 業 績 予 想 と 実 績 値 の 差 異  
(平成 28 年 7 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 四 半 期 純 利 益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 ( A )	2,412	113	111	49	10.13
今 回 発 表 実 績 ( B )	2,204	64	64	20	4.14
増 減 額 ( B - A )	△208	△49	△47	△29	
増 減 率 ( % )	△8.6%	△42.9%	△42.1%	△59.1%	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 6 月 期 第 2 四 半 期)	2,156	150	146	86	17.75

2. 平成 29 年 6 月 期 通 期 連 結 業 績 予 想 数 値 の 修 正 (平成 28 年 7 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 ( A )	5,018	342	336	169	34.46
今 回 修 正 予 想 ( B )	4,700	80	75	0	0.00
増 減 額 ( B - A )	△318	△262	△261	△169	
増 減 率 ( % )	△6.4%	△76.6%	△77.7%	△100.0%	
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 6 月 期)	4,533	305	298	143	29.30

### 3. 第2四半期（累計）業績予想と実績値の差異及び通期業績予想修正の理由

コンテンツマーケティングプラットフォーム事業（CMP 事業）におきまして、当第2四半期連結累計期間の月間平均（平成28年7月から平成28年12月の6ヶ月平均）PV数は、148,772千PV/月となり、前連結会計年度の月間平均（12ヶ月平均）PV数150,019千PV/月から、0.8%減少しました。この影響により、運用型広告を中心にネット広告売上高が696,640千円（前年同期比13.4%減少）となり、予想よりも低く推移しました。粗利率の高いネット広告売上高が予想よりも低く推移をしたことで、営業利益、経常利益並びに親会社株主に帰属する四半期純利益に影響を与えております。

また、当第2四半期連結累計期間において、当社の連結子会社である株式会社エンファクトリーにおいて、不正アクセスに関する特別調査費用等13,590千円を特別損失に計上しており、親会社株主に帰属する四半期純利益が予想よりも減少いたしました。

### 4. 通期業績予想修正の理由

前回発表予想においては、プライベートDMP※1の導入や当社グループのWebメディア共通IDである「iid-ID」の展開によりWebメディアのPV数の増大を中心に施策を実施することで、徐々にWebメディアのPV数が増大し、当社の主要な収益である運用型広告売上高が下期に向かって増加することを想定しておりました。しかし、上記3. で記載した第2四半期累計期間の状況で記載したとおり、PV数及び運用型広告売上高は想定ほどの上昇傾向が見られず、当初予想値に達するまでには時間を要するものと判断いたしました。このため、前回発表の通期業績予想を修正するものであります。

また、親会社株主に帰属する当期純利益については、上記3. に記載の株式会社エンファクトリーの特別損失の計上金額について、今後追加で費用が発生する可能性があるため、業績予想を保守的に見直しております。

※1 DMP：Data Management Platform（データ マネジメント プラットフォーム）の略で、ユーザーのWebサイト上の行動履歴等をデータベース上に蓄積するもの。

（注）本資料に記載されている業績予想等将来に関する内容は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因にかかわる本資料発表日現在における仮定を前提としており、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。

以 上